

# 無文字社会の「文字」に出会う

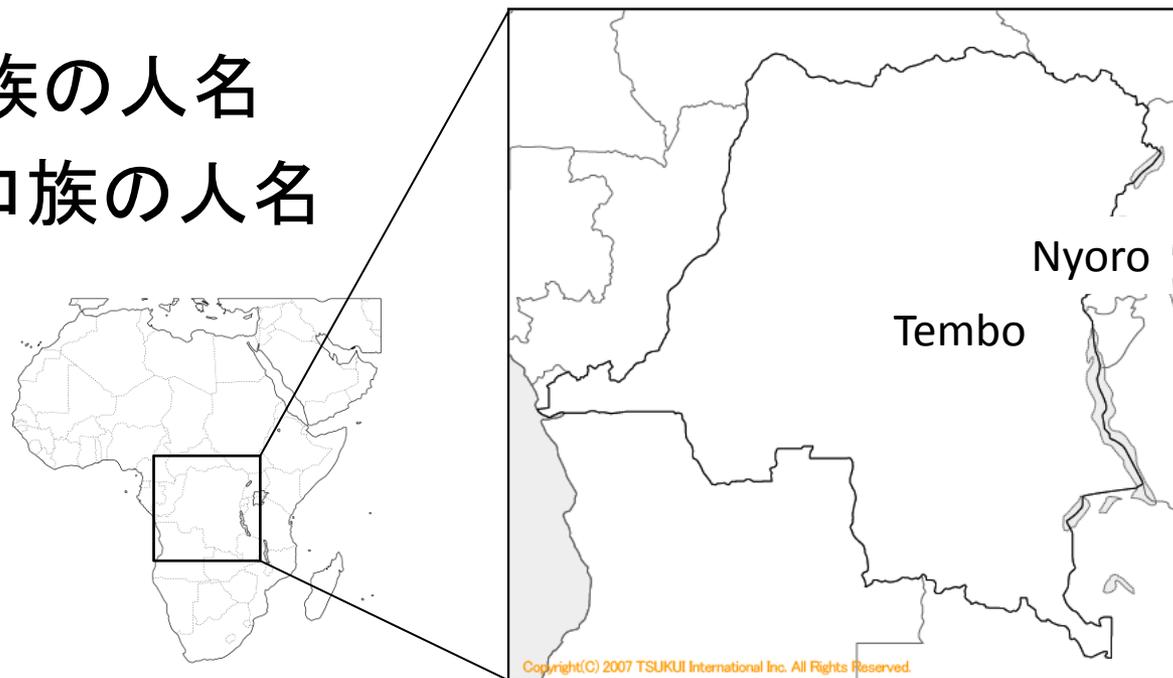


京都大学アフリカ地域研究資料センター教授 梶 茂樹

# 主旨

アフリカの伝統社会では、私たちが想像もしないようなものが“文字”として機能してきた。本公開講座では、コンゴのテンボ族の人名を主体に、ウガンダのニョロ族の例などを交えながら、無文字社会における「文字」について考える。

1. コンゴのテンボ族の人名
2. ウガンダのニョロ族の人名



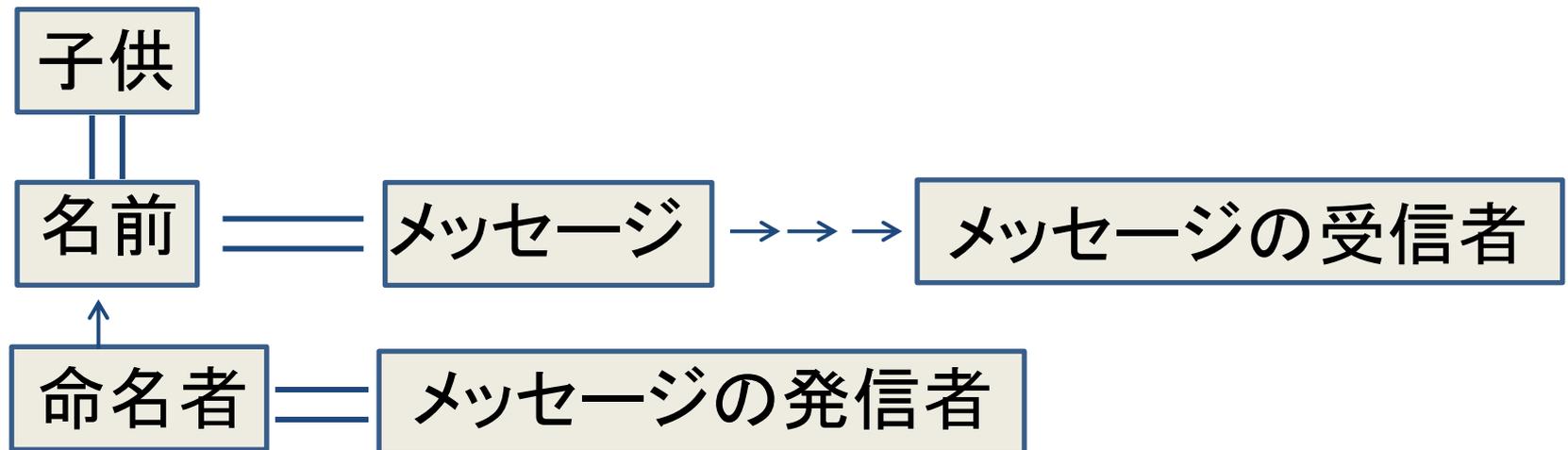
# 1. コンゴ・テンボ族の人名

テンボ族の人間は1人の人がいくつもの名前を持っている。  
その中で最も重要なのは「誕生名」である。

- 名前の種類
- 誕生名
- 第2名
- 自称
- あだ名
- 自分でつけるあだ名
- キリスト教名（洗礼名）
- 祖先霊名
- クラン名
- リネージ名

# 1.1. 誕生名

- アフリカの多くの社会では、個人名は、たんにその人を他の人から区別するだけでなく、特定の人に対するメッセージとなっている。名前はメッセージだ。
- 名前の分類は、その内容によって行われることが多いが、名前がメッセージであることを考えれば、メッセージに発信者と受信者の関係で分析することが可能。



# 1.1.1. 共時的メッセージ

妻から夫へ: ndáményaa「私は知らなかった」、byému「身に覚えのないこと」

夫から妻へ: bálumé「男というもの」、máhá ma ndéré「乾いたバナナの葉」

夫から兄弟へ: bwira búbúyá「良い友情」

妻から嫁ぎ先家族へ: búíririre「悪意」、kúsímwá「愛されること」

夫(夫婦)から隣人へ: lúkoó「情け」、múíshá「運、ツキ」

夫婦から神へ: ngulu「賛美」、mungó áwere「心のつかえは取れた」

## 1.1.2. 通時的メッセージ

妊娠時の状況：fúkéní「ガサゴソ動くこと」、kálala  
「キャッサバの葉っぱ」

出生時の状況：byanjírá「道」、bíhondá「もう取れなくな  
ったバナナ畑」

家族の状況：bíkáyi「物、道具」、lúéndó「旅」

農耕、狩猟採集：hámupunge (m.) / námupunde (f.)  
「米」、múkúmbí「山アラシ」

時事的：málírá「喪、葬式」、hábitá (m.) / nábitaá (f.)  
「戦争」、mbárátá「税金」

## 1.1.3. 双子の場合

	男	女
第1子	kákuru	ńguó
第2子	kátóto	chítóto
双子の後の子	chisa	chisa

## 1.2. 第2名

誕生名とは別のもう1つの名前の意味。生まれたのが男の子の場合は母方のオジが、そして女の子の場合は父方のオバがつける。あるいは、その誕生名をそのまま受け継ぐ。従って、その内容は、基本的には誕生名と同じ。

## 1.3. 自称

男性: Sabúni「石罅」、Saáni「皿」、Kufúli「錠前」、Chiraúli「ガラスのコップ」、Liméti「マッチ」、Pêngere「安全ピン」、Fandíli「車」

女性: Maúa「花」、Nyóta「星」、Maráshi「香水」、Mayi sáfi「きれいな水」、Shingo-népa「首の長い女」、Nángubuka「背か高くてスラッとした女性」

## 1.4. あだ名

体つき・体質：lúhuulu「色の黒い子」、nábyambúnu「背が低くて丸い子」

性格・態度・癖：bíkalí「意地の悪い人」、kasukú「漬垂れ小僧」

家庭の状況：bíkinja「母親の出て行った子」、kásiwa「兄弟が全員死んで1人残った子」

職業：chíbámbá「太鼓をつくる人」、kabénga「歯を削る人」

## 1.5. 自分でつけるあだ名

自己主張的なものが多い。

canáberé「起こること」、káshérú「大酒飲み」、mulirírwa「切望される人間」、kámoomoo「誰とでも寝る人間」

## 1.6. キリスト教名（洗礼名）

テンボの人たちは、少なくとも表面上はキリスト教徒で、それぞれ洗礼名を持っている。

フランス語系なので、以下の様。

Jean-Pierre, Paul, Philippe, Pascal, ...

Antoinette, Marie, Claudine, Rebecca, ...

## 1.7. 祖先霊名

人は死ぬとすべて霊となるが、その中でもいくつか特徴的なパーソナリティーを持った霊がおり、各リネージの守護神として信仰の対象となる。そして、人々と霊との媒介者として子供が1人選ばれ、その子は、その霊の名前で呼ばれる。

Kálíndá, hánge, ....

## 1.8. クラン名

## 1.9. リネージ名

すべての人は何らかのクラン・リネージに属しており、クラン名・リネージ名を持っている。これは本来個人の属性なので、名前ではないが、結婚した女性は嫁ぎ先で、いわばニックネームとしてクラン名で呼ばれることがある。

### クラン名の例

成員1人	複数	クラン出身地	女性のおだ名
Múkúmbí	bákúmbí	búkúmbí	nábukúmbí
Mwishí	besbí	bwishí	nábwishí
Múbutétsú	bábutétsú	búbutétsú	nábúbutétsú
Múkónjo	bákónjo	búkónjo	nábúkónjo

## 2. ウガンダ・ニヨロ族の人名

### 名前の種類

1. 個人名
2. キリスト教名（洗礼名）
3. 親称: akî:ki, amô:ti, abbô:ki, abwô:li, adyê:ri, atê:nyi, atwô:ki, arâ:li (M), acâ:li (M), apû:li (M), bbála (M), okâ:li
4. あだ名
5. 自分でつけるあだ名
6. クラン名
7. リネージ名
8. 双子の名前

# 文献

梶 茂樹 (1985)「テンボ族における個人名—言語人類学的考察—」,『季刊人類学』第 16 卷1号, 講談社, pp.47-88.

梶 茂樹 (1985)「テンボ族の人名の言語学的特徴」,『季刊人類学』第16卷2号, 講談社, pp.72-120.

梶 茂樹・小沢剛 (2010)『ウガンダ・ノート』, 大和プレス